

「児童・生徒の主体的な学びを引き出す ICT の活用～めざそう ICT でアウトプット～」の取組について

都立城東特別支援学校

ICT 活用推進チーム

1 はじめに

令和3年度から国の GIGA スクール構想を受けて、義務教育段階の児童・生徒に一人1台のタブレット端末が配備され、どのように授業で活用していくかが課題となっている。本校では研究のテーマを「児童・生徒の主体的な学びを引き出す ICT の活用～めざそう ICT でアウトプット～」として、実践研究に取り組むこととした。

2 研究について

本校では ICT を研究テーマとすることに伴い、知的障害特別支援学校での ICT 活用の実践経験の豊富な外部専門員を新たに任用し、ICT を活用した授業に関する助言を受けられるようにした。研究の概要については以下のとおりである。

(1) 外部専門員や ICT 支援員による研修の実施

<研修テーマ>

知的障害のある児童・生徒の ICT 活用の具体的事例（6月）

GIGA スクール端末（iPad）の操作方法、アプリの紹介、使い方（7月）

動画編集アプリの使い方（11月）

統合型学習支援サービスの活用方法（12月）

iPad の基本的な操作<アクセスガイド等>（2月）

(2) 各授業実践、学年単位のミニ研究会

6月～1月に各学年1～2回設定し、ICT を活用した授業について外部専門員と事前相談をしたり、実施後の振り返りを行ったりした。

実践例（小学部）



コミュニケーション支援



算数（個別課題学習）



国語（マークをさがそう）

- ・コミュニケーション支援
- ・個別学習での活用
- ・カメラアプリの活用



- ・作業製品の製作工程の紹介動画の作成
- ・作業学習の紹介ポスターの作成

その他の本校の ICT 活用に関する取組は、本校ホームページで紹介している。

http://www.joto-sh.metro.tokyo.jp/site/zen/page_0000000_00147.html



(3) ICT を活用した教材の蓄積、実践事例の整理

ICT を活用した授業実践を年度内に一人1回以上行い、使用した教材等を、Teams を活用した共有した。

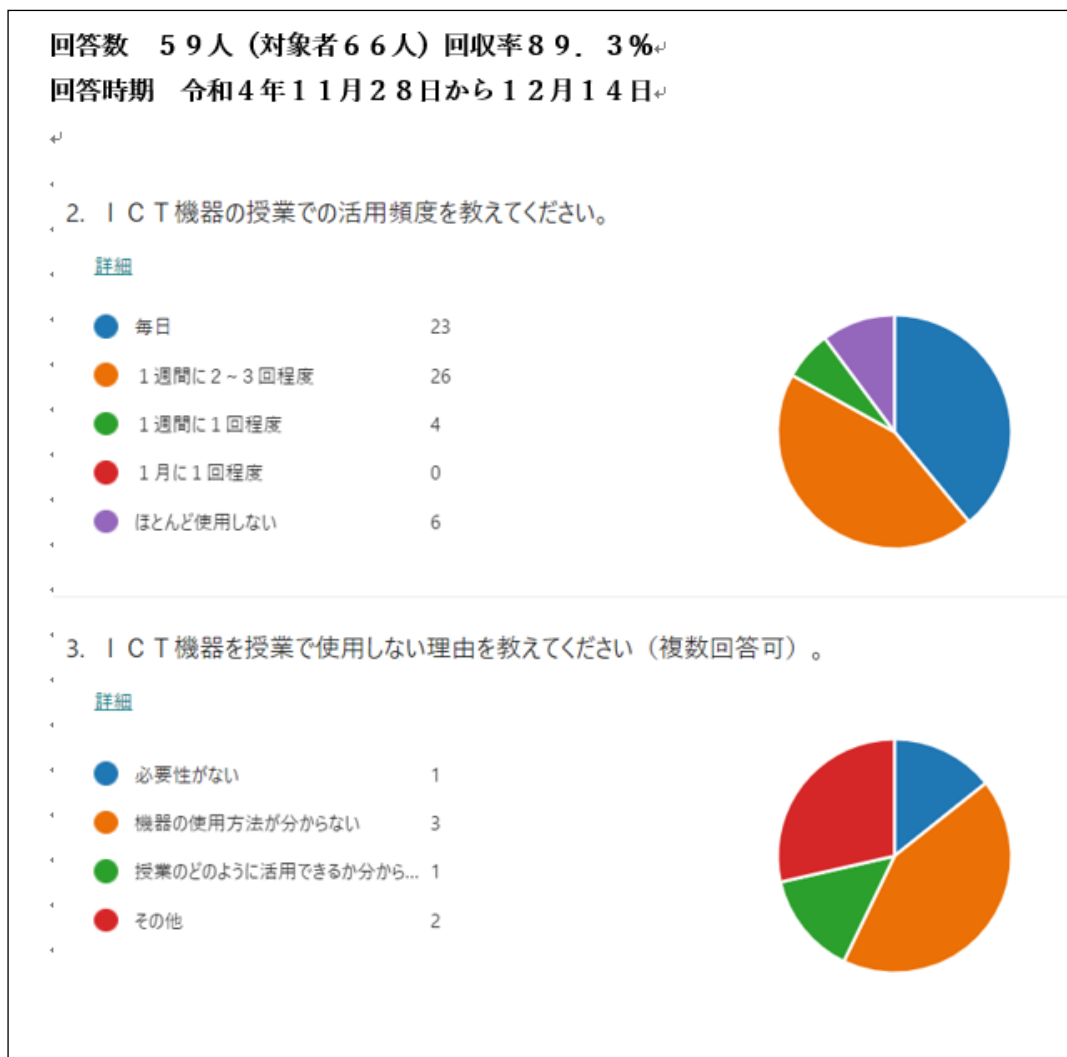


<Teams の画面>

3 ICTに関するアンケート結果について

本校のICT活用に関する実態を知るためアンケートを実施した。

<アンケート結果（一部）>



アンケート結果から次のようなことが考えられた。

- ① ICT機器の活用頻度は高いが、機器の使い方が分からないという回答も多く、現在学校にあるICT機器の使い方に関する研修やマニュアルの整備が必要である。
- ② 授業での使い方は集団授業での活用が多い。パワーポイント等で作成した教材や映像を見せる場面が多いことが考えられる。一方、コミュニケーション支援、スケジュールの提示等での活用が少なく、今後の活用が望まれる。
- ③ iPadの設定（スクリーンタイムやアクセスガイド）に関する研修や説明資料の準備が望まれる。
- ④ 教員用のiPadやプロジェクター（またはモニター）、ケーブル類の整備に関するニーズが高い。
- ⑤ 研究については、研究の目標の具体化や各学年の取り組み状況の共有がより一層必要。

4 成果と課題

ICT活用を研究のテーマとすることで、ICT環境が少しずつ整備され、教職員のICT活用の意識が高まったが、ICT活用のスキルについて、得意な教員と苦手な教員とでICT活用の意識やスキルの差が大きいたことがうかがえた。今後は以下の2点に重点を置き、研究活動をすすめていきたい。

- ①教員が一定以上の操作スキル獲得し、授業でICTを効果的な場面で活用できること
- ②ICT機器の整理や作成した教材の共有、実践事例を積み重ねていくこと